

研修報告書

令和5年11月4日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 杉 本 英



私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 全国市議会議長会研究フォーラム
2. 研修日 令和 5年 10月 25日(水)～26日(木)
3. 研修場所 北九州市小倉北区西日本総合展示場
4. 研修テーマ 統一地方選挙の検証と地方議会の課題
5. 講師 片山善博・坊恭寿・谷隆徳・勢一智子・辻陽 他2名
6. 調査内容感想等

・研修の目的

全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や、今後の議会のあり方
について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めること
が目的である。

・研修の内容

冒頭、全国市議会議長会会長で、神戸市会議長の、坊恭寿氏の挨拶が。
ありました。近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足
の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面しています。昨年
12月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図

長 浜 市 議 会

られ、また、本年4月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められていますが、まだまだ十分とは言えず、今後のさらなる取り組みが求められているところであります。そこで今回は「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理し、その解決に向けた今後の方向性を展望していくための議論の場でした。基調講演は、元鳥取県知事の、片山善博氏による「躍動的でワクワクする市議会に」に始まり、日本経済新聞社編集委員の、谷隆徳がコーディネー

ターを務めてのパネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」というテーマで行われました。2日目は、大正大学社会共生学部教授、江藤俊昭氏の「議員のなり手不足問題への取組報告」という、課題討議で、登別市議会議長・枕崎市議会議長らの、事例報告があり、その後は、意見交換会をもって終了しました。

・研修の結果を本市にどの様に反映させるか。

多岐にわたり、多くの意見を聞くことができました。総論として、やはり市議会議員にとって一番大事なことは、地域住民の福祉向上のために、当局と対峙し、少しでも要望を実現させていく事が、責務であると、再認識をしました。